

科目名 微生物学・口腔微生物学

学年	学期	科目責任者
1	後学期	落合 智子
科目ナンバリング	B-4-③-I-10	
単位数	2	
学習目標 (G I O)	医療従事者として必要な微生物の基本的性状、病原性と感染によって生じる病態と、生体の防御機構としての免疫を理解する。また、口腔常在微生物とそれらが原因となる疾患について理解するとともに、他の科目を学ぶために必要な知識を習得することを目標とする。	
担当教員	齋藤 真規、小林 良喜	
教科書	「最新歯科衛生士教本 微生物学」全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)	
参考図書	戸田新細菌学 改訂34版 吉田眞一、柳雄介、吉開泰信 編集 (南山堂)	
評価方法 (E V)	平常試験を2回行い、最終評価は「平常試験1」50%と「平常試験2」50%を併せて評価する。なお、各平常試験における再試験は行わない。ただし、最終評価が60点に達しない場合には、追再試験期間に全範囲における再試験を行う。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科医療に従事する歯科衛生士にとって、疾病に対する予防処置、診療補助にあたり、微生物学的知識を十分に生かせるよう基本的知識向上を目指してもらいたい。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/1	微生物学の歴史 および 感染と感染症	<p>【授業の一般目標】 微生物と疾病との関わりについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 微生物学とその進展について説明できる。 感染の成立と発症機序について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、教科書第1章(P1-12)を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	栞原 紀子
第2回 10/8	細菌の性状と 病原性	<p>【授業の一般目標】 微生物の性状と病原性について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 細菌の分類・性状・形態・構造・代謝を説明できる。 細菌の病原因子を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、教科書第2章(P13-28)を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	栞原 紀子
第3回 10/15	グラム陽性菌	<p>【授業の一般目標】 病原性細菌の中で、主なグラム陽性菌について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 主なグラム陽性菌の性状および病原性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、教科書第2章(P28-36)を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	★齋藤 真規

第4回 10/29	グラム陰性菌	<p>【授業の一般目標】 病原性細菌の中で、主なグラム陰性菌について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 主なグラム陰性菌の性状および病原性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、教科書第2章 (P36-43) を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	★齋藤 真規
第5回 11/5	マイコプラズマ スピロヘータ リケッチア クラミジア 真菌と原虫	<p>【授業の一般目標】 マイコプラズマ、スピロヘータ、リケッチア、クラミジア、真菌および原虫について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 マイコプラズマ、スピロヘータ、リケッチア、クラミジアの性状と病原性について説明できる。 真菌および原虫の性状と病原性について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、教科書第2章 (P43-48, 70-73) を一読。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	★齋藤 真規
第6回 11/12	ウイルスの性状と 病原性 ウイルス感染症1	<p>【授業の一般目標】 ウイルスの性状と病原性について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ウイルスの分類・性状・構造について説明できる。 ウイルス感染症とその病原体について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、教科書第2章 (P48-58) を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	★栗原 紀子
第7回 11/19	ウイルス感染症2	<p>【授業の一般目標】 ウイルス感染が原因の疾患について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 ウイルス感染症とその病原体について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、教科書第2章 (P58-69) を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	★栗原 紀子
第8回 11/26	平常試験 1 解説講義	<p>【授業の一般目標】 これまでの講義内容についての理解度を確認する。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：120分、第1～7回の講義内容をまとめる。</p>	栗原 紀子 ★齋藤 真規 ★小林 良喜
第9回 12/3	宿主防御機構 免疫機構	<p>【授業の一般目標】 宿主の非特異的・特異的防御機構について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 非特異的防御機構と特異的防御機構および粘膜免疫の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、教科書第3章 (P74-91) を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	★小林 良喜
第10回 12/10	体液性免疫 細胞性免疫	<p>【授業の一般目標】 免疫の概念および免疫応答の発現機序を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 液性免疫および細胞性免疫について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、教科書第3章 (P92-103) を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	★小林 良喜
第11回 12/17	アレルギー	<p>【授業の一般目標】 アレルギーについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 アレルギーの分類および疾患の発症機序を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、教科書第3章 (P103-109) を一読する。 復習時間：60分、講義プリントのまとめ</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	★小林 良喜

<p>第12回 12/24</p>	<p>滅菌と消毒 化学療法</p>	<p>【授業の一般目標】 化学療法、滅菌および消毒の定義と本質を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 化学療法の目的と原理を説明できる。 滅菌・消毒の意義と原理を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，教科書第6、7章(P144-166)を一読する。 復習時間：60分，講義プリントのまとめ 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★齋藤 真規</p>
<p>第13回 1/7</p>	<p>口腔細菌叢 齲蝕</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔細菌叢、齲蝕原性細菌と齲蝕発症機序を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 微生物と口腔環境の関わりについて説明できる。 齲蝕の原因菌と病原性について説明できる。 齲蝕の発症機序について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，教科書第4・5章(P110-130)を一読する。 復習時間：60分，講義プリントのまとめ 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★齋藤 真規</p>
<p>第14回 1/14</p>	<p>歯周病 口腔領域の疾患</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周病と口腔領域の疾患を微生物学的側面から理解する。 【行動目標 (SBOs)】 歯周病原細菌と病原性について説明できる。 歯周病発症の関連因子と病態について説明できる。 口腔領域の疾患に関与する微生物について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，教科書第5章(P130-143)を一読する。 復習時間：60分，講義プリントのまとめ 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★齋藤 真規</p>
<p>第15回 1/21</p>	<p>平常試験2 解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 これまでの講義内容についての理解度を確認する。 【準備学習項目・時間】 予習時間：120分，第8～14回の講義内容をまとめる。</p>	<p>★齋藤 真規 ★小林 良喜 栗原 紀子</p>